２/８出張報告会

質疑応答（要旨）

質問１

* ヨーロッパで、大阪都構想を逆手にとって、「自治体のなくなる日本で万博を開催しない方がいい」というネガティブキャンペーンが行われていると新聞で見た。海外のネガティブキャンペーンに対する反論や対抗策はあるか。

回答１

* ひどい話だと思う。新聞記事によると、「日本の国会議員の万博誘致議連の関係者が、大使館でそのような話を聞いた」というようなことがニュースソースになって新聞に出ている。
* 「大阪都構想をするなら万博にマイナスになる」というのなら、「どこの大使館が言っているのか教えてほしい、直接説明に行く」と、記者会見でも聞かれたので申し上げた。
* もし大阪都構想が実現すれば、広域である大阪都が実現していく。まず、そのニュースソースが本当なのかということが一つの疑問である。
* 万博の誘致については直接色々な国と接しているが、そのようなことは聞いたことはない。そういうことが出てくれば松井知事と直接説明に行く。

質問２

* 是非万博開催を実現できたらよいと思うが、一方で、まだここが欠けていたなと実感したことがあったら教えてほしい。市民として何か応援できることがあれば参考にしたい。
* もう一つ個人的なことだが、中学生と大学生の子供がいて、吉村市長は若者に人気があるので、2025年の万博が実現するまで、絶対市長をやめないでくれと言われてきたのでそれを伝えておきたい。

回答2

* あたたかいご声援をありがとうございます。そういって頂ければやる気が出る。応援してもらえるのはありがたい。
* 万博について、国と自治体と経済界が一体となってやっているが、海外と比べて日本の弱みは、市民、国民の皆さんが、どれだけ万博を誘致しようという想いがあるかというと、まだ十分醸成できていないことである。
* それはどんな万博になるのかが伝えきれていないためだと思う。これは誘致が決まってからも行うことであるが、皆さんがわくわく感を共有できるものでなくてはいけないと思っている。
* 万博誘致は取り下げたが、フランスでは若者を使ってうまくやっている。署名もフランスがはじめ、日本は真似をして（数を）超えた。行政、経済界が先行しているところをいかに国民のみなさんと一体感を持ってやるかが大事だと考える。
* オリンピックなら何をやるかが決まっているので想像がつきやすいが、万博は新たなものを生み出すので想像がつかないところが難しい。今から見れば1970年の万博は面白かったとなるが、はじまる前には想像がつかなかった。だから、はじまる前に、いかにわくわく感を共有するか、機運を高めていくのが大切だと思う。また、誘致したあとにどういったものを残しているか、レガシーを残すかも大切。今後、その共有感を高めていきたい。それが、まだ弱いところかと思う。

質問３

* 例えば、アメリカでは「ライフ・イズ・マネー」といって、日本の10倍の医療コストがかかる。医療と英語の力が大阪で伸びれば大きな力になるというのが個人的な思いである。

回答３

* まさにテーマの「いのち輝く未来社会のデザイン」にも共通している。大阪、関西の強みは医療、ライフサイエンスの分野であり、日本の中でも世界的にも技術が高い。IPS細胞の山中先生や高橋先生、阪大の澤先生もおられ、いわゆる先端の医療技術は日本はとても高く、診断の技術も高い。
* 日本は世界一の長寿国となる中で医療を発展させてきた。アメリカも力を入れており、世界の力のある若者を招いているが、日本の技術力は高く、世界に売り込む絶好のチャンスであると思っている。
* 大阪府が誘致したがんセンターでは最先端のレーザーをあてて癌だけを退治するような、最先端医療を行っている。自由診療でお金はかかるが、保険に加入していれば使える。皆さんもがん保険に加入してください。
* 中之島4丁目では、IPS細胞を使ってそれを産業化していくということをしようとしている。大阪市の土地を売れば100億円になるが、売って100億円のマンションを建てるより、世界にここしかないIPSのゲノムの拠点を作る方が、大阪にとっては価値が高いと思う。
* 大阪、関西全域の医療レベルは非常に高い。まさに「いのち輝く未来社会のデザイン」がテーマの中で、関西の医療技術を世界に発信するチャンスであると思う。今年11月に万博の誘致が決まれば、2025に向かって何するのか具体化してくる。2025年万博開催の6か月間だけが大事なのではなく、そこに至るまでに何をやるかが大切。2025年までの大阪の経済成長に万博は必ずプラスになると思うので、おっしゃるように高い医療技術を発信するような、そういうことをやっていきたい。

質問４

* 万博について、一過性で終わるのではないかと懸念していた。一方、これが一つの起点となって、何か大きなことを起こせる可能性もある。先日人から聞いたが、これは一つのスタートだと、大阪のまちがそこから未来都市ができるスタートだと言っていて、それはすごくいいことだと思った。
* 大阪に海外から大勢の方が来られる機会を利用してそのまま日本に居ついてもらって、人手不足を解消するなど未来につながるような万博にすることについて、考えを聞きたい。

回答４

* まさにおっしゃるとおりで、万博を6か月間のイベントだけに終わらせてしまってはいけないと考えている。
* 万博にかかる費用については、厳しく見積もって試算しているが、1200億円となっており、これを国、大阪府と市、そして経済界で３つで割って実施する形で進めている。それとは別に運営費がだいたい800億円かかる。運営費については入場料で賄う。これまでも、運営費については、名古屋もほぼ黒字になっていて、黒字分が基金として貯まっているが、最初に1200億円は使うので、見返りがあるのかシビアに考えなくてはならない。
* 経済効果の試算は、期間中だけで1兆円。期間後が2千億円か3千億円、大事なのはいかに万博のレガシーを残しているかである。スタートは万博がはじまる年ではなく、万博が決まってから万博開催までの期間もレガシーを残す大事な期間と思っている。
* これから万博をすることでどのような技術を開発するか等様々な話がでてくると思う。私自身も考えていることがある。新たな産業技術が生まれる、それが将来的に残っていかないといけないと思う。
* 先ほどの海外の方の事例でいうと、ミラノの万博について、ミラノ市長と話をしたときに印象に残ったことは、ミラノはもともと観光が多いが、万博前と万博後でだいたい14％くらい海外からの訪問客が増え、そして海外からの投資が増えたということである。いかに海外の人に来てもらえる万博にするか、そして、後に残すレガシーについても大事だと思った。また、上海の万博ではエリアが開発され、古い工業団地だったが、万博によってインフラが整ってまち自体が栄えたと聞いた。
* 夢洲は実はもともとオリンピックの誘致に負けて、オリンピックがくることを前提に作りかけたトンネルも、そのままになっている。夢洲は現状ではなかなか高くは売れない土地であるが、万博が来たら新たな産業も生まれ、土地の価値もあがる。市長の立場からは湾岸エリアを活性化させたいという思いがある。世界の諸都市の湾岸エリアは一番魅力的で価値が高い。大阪の湾岸エリアは倉庫物流中心で、夜になると高速道路を走ってもさみしい気がする。まちづくりの観点から、湾岸エリアの活性化に万博を利用させてほしいというのは首長の思いとしてはある。そのエリアの活性化、日本の産業の活性化という意味で一過性のものにしない、レガシーを残すようにすることが大切だと思う。

質問５

* 今日の話を聞いて、G20や万博、IRなど色々ある中で、10年後、20年後の大阪は投資に値する盛り上がりになっているとイメージできる。ただ、大阪の土地の値段が上がるだろうからといって自分達が土地を買えるかと言ったらなかなか買えない。市民からすると、受益は住民サービスくらいしかないと思う。しかし、大阪に投資したいという気持ちの個人はいると思う。投資できる金融商品もしくは利益を還元できるものがあればいいと思った。

回答５

* まさにここ、大阪イノベーションハブでは、大阪に投資したい人の集まる空間になっている。投資したい企業、新たに起業をしようと思う人が集まって、ここが一定の拠点になっている。うめきた2期地区についてはは夏頃を目途に開発事業者を公募しており、2024年にはまちびらきをする。
* ご質問への回答であるが、広報不足でご存じなかったかもしれないが官民ファンドはできあがっている。大阪市、銀行団が一定のファンドを作り、最先端の技術をもった企業に投資していこうという政策をはじめている。起業家の育つエコシステムを作っていこうということをここ大阪イノベーションハブでやっている。起業に興味のある方はここに来て頂きたい。HackOsakaという国際会議を開催するが、有名な投資家も多く集まるイベントであり、よろければ参加していただきたい。

質問６

* EXPO 2025 OSAKA, KANSAI, JAPANには「関西」という言葉がついているが、「関西」がついた経緯を聞きたい。機運を高めていくことが重要であれば、大阪だけでなく、京都、神戸の市長も交えて、（BIE視察団の来る）3月には、関西全体で盛り上げているという演出も必要でないかと思う。

回答６

* 海外の方からみたら「大阪」の線引きは関係ない。大阪を中心とすれば京都、神戸、奈良にも30分～40分で行ける。関西は1000年以上前から歴史のあったエリアであり、海外の方々は「関西」のエリアに興味をもっている。世界的目線でみれば、関西は一つのエリアであり、このエリアを知ってもらい、広めることが、最終的には大阪の利益になるし、他の都市の利益になる。京都とか大阪とか、張り合うことは世界的に関係がない。関空、神戸、大阪に3つの空港があり、エリアという単位でみれば一国に値する関西をエリアとして打ち出すため、EXPO 2025 OSAKA, KANSAI, JAPANとして進めている。
* ならば、関西万博でいいかもしれないが、国で3分の１、大阪府市で3分の１、経済界で3分の１とお金を出しているので、申し訳ないけれど大阪は当事者ということで、大阪、関西ということで進めている。
* 京都にも関与してほしいというのはそのとおりで、先日も京都府知事、京都市長が夢洲に来られて機運を盛り上げようとなった。近隣の自治体とは一体となって関西のエリアで万博を誘致したいと思っている。京都市長とはよく話をするが、京都市は姉妹都市がパリ市で事務所があり、協力を申し出ていただいている。関西の市長や知事も協力的である。関西エリアとして万博を誘致したい。
* 万博はオリンピックと違って都市ではなく国が誘致するので、3月にBIE視察団が来る際の行程は、提案はしているが、最終的には国、経済産業省が決める。世耕大臣が責任者。最終責任者は安倍総理である。

質問７

* G20も万博も勝ち取れた場合、6年少ししかない。来年には選挙が２つ予定されており、天皇退位、眞子さまの結婚等もあるだろうし、ラグビーワールドカップもある。２０２０東京オリンピックもありマスコミに躍らされて市民は目移りする恐れがある。オリンピックの後で万博にむけて動きだすと遅いと思う。万博の継続的プロモーションが大切であり、定期的に、サポーターになってない人にも進捗が把握できるようなプロモーションを続けてほしいと思う。全国ネットで15分間のテレビ番組をもつとか、前向きに検討してほしい。プランはあるか。

回答７

* それぞれを開催するエリアが重要で、今回フランスが辞退した理由がいくつかあると思うが、2024年のオリンピックを誘致できたことが大きいと思う。あくまでも憶測であるが、2024年にオリンピックをやって2025年に万博をするというのは都市にとって少ししんどいと思う。
* 大阪で2024年オリンピック、2025万博を開催するとなると、プロモーション、宣伝活動もなかなかできない。でもエリアが分かれていたら、エリアが責任を持ってするということで進めていけると思う。オリンピックは東京がメインでする。2025年の万博は大阪がメインでする。また万博は国家行事なので国にもちゃんと入ってもらって万博の機運醸成をしていきたい。
* 2019年のG20は、東京も候補の一つにあがっているが、「2020年にオリンピックなので2019年はしんどいでしょ。大阪は大丈夫。」と言っている。当然参議院、地方議員選挙もあるが、大阪の大きなイベントとしてはG20。ラグビーワールドカップは日本国中でやるから、エリアである程度分けるという意味ではG20は大阪でやらせてほしいと言っている。継続的プロモーション、発信はしていかなければならないと思っている。

質問８

* G20のことで質問する。市長がG20 を誘致する理由の一つとして、世界の首脳を子供たちに見てもらいたいと言っておられたけれど、実際市民は警備等で首脳には近づけない。市民や子どもにみてもらう交流やイベントを、もし誘致がきまったら考えているのか。
* インテックスの老朽化を心配している。改修ができるのか。

回答８

* イベント事はあるだろうが、首脳たちを身近で見てもらうのは、現実的には警備の点で難しいと思う。実際は、大阪城で歩いているのを遠くからか、もしくは映像で見てもらうことになるかもしれない。インテックスや大阪城など、同じ空間を共有してもらえることが近くに感じることになると思う。
* インテックスについては、老朽化は確かにあり、広さや空調設備など様々な部分で少々改修をしなくてはいけないところはあるが、大幅に改修しなくていいという調査結果が出ている。
* 一定程度は開催に必要な経費は国のイベントなので国が出してくれるということになっている。大阪が出さないといけない部分もあるが、直接的なところは、国が責任もってやるということなので、それはありがたいと思っている。老朽化は大丈夫、チェック済みである。

質問９

* 先ほども言われたとおり、一番盛り上がっているのは経済、政治家で、自分自身も含め、別に万博を開催しなくてもいいのではないかとか、反対している人もいる。市民との温度差が問題だと思う。反対する人は、税金をかけることや、経済効果が信じがたいということがあるのだと思う。おいしい汁は一部の人だけが吸うという不安もあると思う。市民にどうアピールして巻き込むのかが大事で、しっかりとした工夫がいる。万博とIRを混同して反対したりしらけたりしている人がいる。そこに工夫はあるのか。大事な点だと思う。

回答９

* 私も大事だと思い、そう申し上げている。「いのち輝く未来社会のデザイン」というテーマが抽象的であり、これから進めていくにあたって、このテーマを具体的に落とし込むイベント、広報を増やしていかないといけないと思う。11月に誘致が決まった後に、市民におもしろそうと思ってもらうような、万博のテーマを落とし込んだ活動がこれから重要である。誘致が決まったら、これがしたいというのはあるので、それは誘致が決まったら発表しようと思っている。万博は誘致が決まった時が大事で、その時に市民がそんなものいらないとなったら意味がない。そこでいかに広げていくかが大事。
* 1970年の万博がきっかけで、携帯電話、動く歩道などができた。その頃は右肩あがりの時代であり、「これが未来社会か」ということで成功した。実際に黒字であった。レガシーも残った。大阪では花博もやった。花博は大型博ではなく、小さい博覧会だったが、黒字だった。鶴見区はかつてゴミ捨て場だったが、万博をきっかけに道路もできて、地下鉄もできて、24区の中で一番子育て世代が多い区となっている。まちづくりができるということが大きい。
* 万博そのものが、わくわくするものだということをいかに市民と共有できるかが大切だと思う。そこを実現させたい。